平成25年６月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年２月13日

上 場 会 社 名　株式会社ノア　上場取引所　名
コ ー ド 番 号　3383　URL　http://www.noah-corp.com
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）脇沢　光義
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　（氏名）奈良　正敏　(TEL)03(5651)8100
四半期報告書提出予定日　平成25年２月14日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年６月期第２四半期の業績（平成24年７月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年６月期第２四半期	192	△85.4	△42	―	△43	―	△19	―
24年６月期第２四半期	1,318	755.5	114	―	114	―	112	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年６月期第２四半期	△183.　17	―
24年６月期第２四半期	1,058.　50	982.　67

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年６月期第２四半期	235	68	27.8
24年６月期	308	87	27.6

（参考）　自己資本　25年６月期第２四半期　65百万円　24年６月期　85百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年６月期	―	0.　00	―	0.　00	0.　00
25年６月期	―	0.　00			
25年６月期（予想）			―	0.　00	0.　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年６月期の業績予想（平成24年７月１日～平成25年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	1,089	△32.2	14	△76.6	12	△80.1	35	△13.2	333.　57

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年６月期２Ｑ	106,956株	24年６月期	106,956株
②　期末自己株式数	25年６月期２Ｑ	338株	24年６月期	338株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年６月期２Ｑ	106,618株	24年６月期２Ｑ	106,618株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）１ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）継続企業の前提に関する注記 ……9
（５）セグメント情報等 ……9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、政権交代に伴う金融緩和期待等を背景とする円安が進行し、デフレ脱却・経済成長への期待が高まっていますが、欧州の債務問題の動向が引き続き大きなリスク要因として残っており、世界的に景気回復へ向けて長期的な課題は山積していますが、足下は一種の安堵感が見受けられます。

このような状況の中、当社のLED照明機器販売事業は、当初計画していた大口案件の導入計画の延期や中止によって受注が伸び悩み、当初の見込みを大幅に下回りました。また、官公庁関連の入札案件につきましても、入札に際して必須となるパートナー企業の選定の遅れや入札案件の選定等に時間を要したこと等により当初見込んでいた受注を獲得するに至りませんでした。

また、環境商材拡充を目的とした太陽光パネル等の販売は、提携先の絞り込みに時間を要しており、成果を得られるのは第4四半期以降になると予想されます。

この結果、売上高192,933千円（前年同四半期比△85.4％減）、営業損失42,847千円（前年同四半期は114,559千円の利益）、経常損失43,985千円（前年同四半期は114,077千円の利益）、四半期純損失19,528千円（前年同四半期は112,855千円の利益）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第２四半期会計期間末における流動資産の残高は、222,938千円（前事業年度末は293,026千円）となり70,087千円の減少となりました。その主な要因は、LED照明機器販売事業の大幅な売上減少に伴う収入の減少などにより、売掛金が52,918千円、現金及び預金が9,468千円、商品が9,871千円減少したことなどによるものであります。

また、当第２四半期会計期間末における固定資産の残高は、12,729千円（前事業年度末は15,719千円）となり2,989千円の減少となりました。その主な要因は、差入保証金の1,234千円の減少などにより、投資その他の資産が2,223千円減少したことによるものです。

この結果、当第２四半期会計期間末における総資産は235,668千円（前事業年度末は308,745千円）となりました。

②負債の状況

当第２四半期会計期間末における流動負債の残高は、147,387千円（前事業年度末は180,936千円）となり33,548千円の減少となりました。その主な要因は、買掛金が9,388千円、未払金が5,523千円、未払消費税他が16,230千円減少したことなどによるものであります。

また、当第２四半期会計期間末における固定負債の残高は、20,000千円（前事業年度末は40,000千円）となり20,000千円の減少となりました。これは、社債の償還に伴う減少が20,000千円あったことによるものであります。

この結果、当第２四半期会計期間末における負債合計は167,387千円（前事業年度末は220,936千円）となりました。

③純資産の状況

当第２四半期会計期間末における純資産の残高は、68,280千円（前事業年度末は87,809千円）となり19,528千円の減少となりました。その主な要因は、当四半期純損失の計上により利益剰余金が19,528千円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ9,468千円減少し25,664千円となりました。なお、当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は10,320千円となりました（前年同期は172,200千円の獲得）。これは、税引前四半期純損失18,385千円を計上するとともにその他の負債の減少19,290千円などがあったものの、売上債権の減少52,918千円などによって資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は209千円となりました（前年同期は22,427千円の獲得）。これは、定期預金の預入による支出15,000千円や貸付による支出1,300千円があったものの、定期預金の払戻による収入15,000千円や差入保証金の返還による収入1,354千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は20,000千円となりました（前年同期は29,420千円の支出）。これは、社債の償還による支出20,000千円があったことによるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年６月期の業績予想につきましては、当第２四半期累計期間（平成24年７月１日～平成24年12月31日）において、当初計画の営業利益、経常利益、当期純利益を下回ることが見込まれる状況となっており、業績予想の見直しを行いました。

当第３四半期会計期間、当第４四半期会計期間における既存顧客や新規の大口顧客、官公庁の入札案件等の売上高について保守的に見積り、営業利益、経常利益、当期純利益についても、当第２四半期累計期間の実績を踏まえ、見直しました。

この結果、当事業年度（平成25年６月期）の業績の見通しにつきましては、売上高1,089百万円（平成24年８月14日業績予想1,474百万円）、営業利益14百万円（同88百万円）、経常利益12百万円（同110百万円）、当期純利益35百万円（同110百万円）を見込んでおり、修正後の当期業績予想におきましても黒字計上を見込んでおります。

今次修正を踏まえましても、平成25年６月期は、黒字計上の見通しであり、当社といたしましては、引き続き企業構造の転換を着実に進めてまいります。LED照明販売事業の成長のためには、顧客基盤拡大の必要性を強く認識していることから、現在の取り組みを結実させるべく、新規の顧客に対する営業と官公庁入札への取り組みをさらに強化し、今後の事業拡大に向けた取り組みを積極化していく方針であります。また、LED照明以外の環境商材の取り扱い、その他の新規事業の立上げなど、今後の収益拡大につながる施策を早急に検討し、事業基盤の多様化、安定化による企業価値の増大を目指していく所存であります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度に営業利益63,594千円、経常利益62,204千円、当期純利益41,010千円を計上しましたが、当第２四半期累計期間において、売上計画の大幅な未達により営業損失42,847千円、経常損失43,985千円、四半期純損失19,528千円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

この状況に対処すべく、(1) LED照明機器販売事業の拡販、(2) 新たな環境関連商材の販売、及び(3) 新規事業の開発といった重点課題に引き続いて取り組み、販売力の増強とコストの削減による収益力の向上を図ってまいります。また、新株予約権の行使や資金調達によって運転資金を確保する準備も引き続き行ってまいります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年６月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,133	62,664
売掛金	195,981	143,062
商品	14,711	4,840
原材料及び貯蔵品	363	262
未収入金	2,575	3,344
その他	9,866	11,368
貸倒引当金	△2,604	△2,604
流動資産合計	293,026	222,938
固定資産		
有形固定資産	1,226	1,029
無形固定資産	4,240	3,670
投資その他の資産	10,252	8,029
固定資産合計	15,719	12,729
資産合計	308,745	235,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,799	93,410
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	13,404	7,881
未払法人税等	4,832	2,427
その他	19,899	3,668
流動負債合計	180,936	147,387
固定負債		
社債	40,000	20,000
固定負債合計	40,000	20,000
負債合計	220,936	167,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,548	211,548
資本剰余金	856,003	856,003
利益剰余金	△946,257	△965,785
自己株式	△36,225	△36,225
株主資本合計	85,069	65,540
新株予約権	2,740	2,740
純資産合計	87,809	68,280
負債純資産合計	308,745	235,668

（２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	1,318,151	192,933
売上原価	1,068,506	151,814
売上総利益	249,645	41,118
販売費及び一般管理費	135,085	83,965
営業利益又は営業損失（△）	114,559	△42,847
営業外収益		
受取利息	7	12
受取賃貸料	714	428
関係会社株式売却益	140	－
その他	581	12
営業外収益合計	1,443	453
営業外費用		
支払利息	945	788
支払保証料	835	803
その他	144	－
営業外費用合計	1,925	1,592
経常利益又は経常損失（△）	114,077	△43,985
特別利益		
固定資産売却益	－	100
保証金償還益	－	25,500
特別利益合計	－	25,600
特別損失		
特別損失合計	－	－
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	114,077	△18,385
法人税、住民税及び事業税	1,222	1,143
法人税等合計	1,222	1,143
四半期純利益又は四半期純損失（△）	112,855	△19,528

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	114,077	△18,385
減価償却費	1,172	766
のれん償却額	2,499	－
長期前払費用の増減額（△は増加）	912	868
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,765	－
受取利息及び受取配当金	△7	△12
為替差損益（△は益）	△40	△0
支払利息	945	788
固定資産売却損益（△は益）	－	△100
関係会社株式売却益	△140	－
売上債権の増減額（△は増加）	△484,992	52,918
たな卸資産の増減額（△は増加）	19,003	9,971
その他の資産の増減額（△は増加）	7,764	△1,027
仕入債務の増減額（△は減少）	505,691	△9,388
未払費用の増減額（△は減少）	△1,053	△3,586
その他の負債の増減額（△は減少）	8,646	△19,290
その他	15	－
小計	176,261	13,522
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	△828	△853
法人税等の支払額	△3,244	△2,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,200	10,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,000	△15,000
定期預金の払戻による収入	18,000	15,000
有形固定資産の売却による収入	－	100
無形固定資産の売却による収入	22,286	－
関係会社株式の売却による収入	140	－
従業員に対する貸付けによる支出	－	△1,300
貸付金の回収による収入	－	55
差入保証金の返還による収入	－	1,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,427	209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△9,420	－
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,420	△20,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	165,248	△9,468
現金及び現金同等物の期首残高	67,741	35,133

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）
現金及び現金同等物の四半期末残高	232,990	25,664

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社の報告セグメントは、LED照明器具販売事業のみの単一セグメントであるため、開示を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。